

ごあいさつ



石巻市長
亀山 紘
かめ やま ひろし

平成17年4月の合併により新市となった石巻市は、新旧二つの北上川やリアス式海岸、沖合いには、金華山、網地島、田代島など、風光明媚な全国に誇れる多彩な景観を有しています。

北上川流域の肥沃な大地では、米や野菜を中心とした多種多様な農畜産物が生産され、世界三大漁場の一つである金華山沖は豊富な水産資源の宝庫であり、まさに「食のまち」にふさわしい様々な地域資源があります。

この豊富な資源を活かして「まち」も「人」も元気になる契機とするため、平成21年12月に、「食を活かした元気な石巻」都市宣言を行いました。

また、本市は藩政時代の伊達藩の統治下には、水運交通の拠点に位置する「奥州最大の米の集積港」として、全国的に知られた交易都市でした。

現在は、人々の暮らしと産業を支える重要港湾「石巻港」や「石巻漁港」が整備され、平成元年には、石巻専修大学が開学するとともに、仙台・石巻間を結ぶ三陸縦貫自動車道の整備延伸により、交通アクセスが飛躍的に向上するなど、県内第二の都市として発展してきました。

また、本市には「サン・ファン館」や「石ノ森萬画館」、「おしかホエールランド」、「雄勝硯伝統産業会館」などのオリジナリティのある施設や「石巻川開き祭り」や「ものうふれあい祭り」、「おしか鯨まつり」など人々を魅了する多彩なイベント、そして、「かき」、「はたて」、「金華そば」や「かまぼこ」、「たらこ」、「石巻焼きそば」など、石巻ならではの豊富な食があります。

そんな石巻に是非お越しいただき、海、山、川、島など変化に富んだ景観や豊富な食を満喫していただければと思います。



Greetings